



「COVID-19パンデミックは日常生活に**大きな混乱**をもたらし、子ども達はその変化を深く感じています。学校に戻ることを歓迎する生徒が多い一方で、**不安や恐怖**を感じている生徒もいます」

- [ユニセフ報告書](#)

一生の中で、**最も深刻な教育上の緊急事態**は明確な終息の目処が立たないまま続いています。特にルーム・トゥ・リードが活動している恵まれない地域に住む、最も弱い立場にある生徒達にとっては深刻です。世界的に見ても、COVID-19 変異株により学校が突然閉鎖されるなど、学校に行けない生徒の数は変動し続けています。[9月には5億3,900万人の生徒が学校に戻りましたが](#)、これは学習人口の35%に過ぎません。9月に開校した学校が今後も継続するとは限らず、生徒達はさらなる学習障害に直面することになります。

ワクチン接種率の高い国に住む人々が徐々に以前の生活に戻りつつある一方で、ワクチンへのアクセスが低い国ではパンデミックが猛威を振るっています。高所得国と低所得国の間には大きな格差があり、**世界で完全にワクチンが接種されるのは2023年になると**予測されています。学校が再開されても、[ユネスコ](#)は**2,400万人以上の子ども達が学校に戻れないリスクがある**と推定しています。中途退学は、子ども達が暮らす地域社会に深刻な影響を与えます。卒業できなかった生徒は、貧困の中で暮らし、地域社会で紛争を経験する可能性が高くなります。少女達は、意図しない妊娠、虐待や暴力、児童婚のリスクが高まります。**教育の喪失は、ジェンダーの不平等を助長し、飢餓と貧困**（英語）の原因であると同時に**結果でもあります**。このような複合要因は、次の世代の教育をさらに低下させる可能性があります。

質の高い教育は、社会の基盤となります。学ぶことで、生徒はコミュニティをより良い方向に変えるリーダーになることができます。[教育を受けた少女達](#)は、遅くに結婚して母親になり、より高い収入を得て、気候変動対策にも貢献する可能性が高くなります。大規模な女子教育は、貧困を減らし、子どもと妊産婦の死亡率を低下させ、紛争のリスクを下げます。学生達は公衆衛生のために**教育を犠牲にする**ことを余儀なくされてきましたが、今さら彼らを見捨てることはできません。すべての子ども達には、現在直面している危機にかかわらず、家族やコミュニティ、そして世界において、充実した生活を送り、前向きな変化をもたらすための教育を受ける権利があります。

[ルーム・トゥ・リードの対応](#)



COVID-19のパンデミックが続く中、弱体化した教育システムでは、遠隔教育を継続し、学習損失に対処するための補習教育プログラムを実施する必要があります。ルーム・トゥ・リードは引き続き専門知識を共有し、システムレベルの変革に影響を与えて、生徒の学ぶ権利を守ります。教室の内外を問わず、ルーム・トゥ・リードは、若者が地域社会の変革者となるために必要な識字能力とライフスキルを身につけられるよう支援しています。この危機の影響は、遠く、広く、未来にまで及んでいます。**教育に再投資し、再構築することが最も包括的な対応策です。**

ルーム・トゥ・リードは、識字教育プログラムと女子教育プログラムを世界各地で実施するために、協力的に、革新的に、そして迅速に活動しています。これは、コミュニティのニーズと、どこ

にも生徒が途切れることなく教育を受けられるようにするための論理的方法についての現地スタッフの専門知識に基づいています。

パンデミックが始まって以来、私達は子ども達の学習ニーズの変化に合わせてプログラムを提供してきました。**ローテクからローテク、ハイテクまで、状況にかかわらず、すべての子ども達に学習ソリューションを提供**してきました。具体的には、ラジオやテレビ番組、家庭への印刷教材の配布、電話やメッセージによる保護者や教師へのサポートの強化、教師や書籍制作者向けのバーチャルトレーニング、政府との提携による公式学習サイトへのコンテンツ提供、リモートメンタリングやライフスキルサポートの提供、少女向けのリスク対応プロトコルの適用、デジタル学習プラットフォーム「[リテラシークラウド](#)」で利用できる書籍やリソースの大幅な拡充などが挙げられます。

特にルーム・トゥ・リードが支援している子ども達やコミュニティにとっては、このパンデミックからの回復への道のりは長いと思われます。ルーム・トゥ・リードが支援しているコミュニティは、大きく分けて2つのグループに分かれます。

- 学校が完全に開校し、教師と生徒が失われた時間を取り戻すために懸命に努力している地域
- 学校の再開と閉鎖のサイクルを生徒達が経験している地域、または学校の開校数が限られているか調整されている地域

この2つのカテゴリの中でも、学生の経験は多岐にわたっています。世界では、[4億6300万人の学習者](#)が遠隔教育を受けられず、その大半が農村部や低所得国に住んでいます。私達のプログラムに参加している学生の多くは、親の携帯電話を借りたり、1台のコンピューターを大家族で共有しています。同様に、親が教育に高い価値を置いている生徒もいれば、パンデミックで家族が収入を失った場合などに、中退して働くよう迫られる生徒もいます。

私達の目標は、様々なリソースやプログラムを提供することで、できるだけ多くの子ども達のユニークなニーズに対応することです。教室にいる時も、家庭にいる時も、過渡期にある時もあらゆる場所にいる生徒達に届くよう、プログラムの提供方法を進化させていきます。そのために、私達はハイブリッドなアプローチを採用し、従来のプログラムのパワーと、遠隔学習支援戦略のリーチと適応性を組み合わせています。

[2021年の子ども達のニーズに応える](#)



今年の最大のニーズに合わせてご寄付をいただくことで、プログラムを実施している各国の子ども達に教育を提供することができます。このモデルは、学校の開校状況や時期に応じて、必要に応じて改良していきます。私達は、この不確実性の高い時期に、中核となるプログラムを補完し、最大限の効果を発揮するために、3つの主要分野に焦点を当てています。以下に、それぞれの重点分野の概要と、皆様のご協力により実現する活動の概要をご紹介します。

コンテンツの音声・動画配信

- **バングラデシュ**では、中等・高等教育局とのパートナーシップにより、12本のライフスキルビデオを開発し、国営テレビチャンネルで放映しています。テレビはバングラデシュで最も視聴されているメディアであり、これらの動画は、女子教育プログラムの参加者以外にも広く影響を与えています。
- **インド**では、様々なラジオやテレビで放送される複数の地域言語の識字エピソードを開発し、ルーム・トゥ・リードの全プロジェクト地域で放送しています。これらのエピソードには、子ども向けの読み聞かせ、語彙や理解力を高めるための活動、質問などが含まれているほか、教師や保護者向けに識字の重要性について教育者からのメッセージも含まれます。この活動により、スマートフォンやインターネットにアクセスできない家庭や、部落や丘陵地帯などのアクセスしにくい地域に住む人々にも、コンテンツの提供が可能になります。さらに、地方自治体との協力関係により、国のプラットフォームを利用してこれらのリソースを共有することができます。
- **ネパール**では、2020年に始まった女子教育プログラムの卒業生によるラジオ番組を強化しています。このインタラクティブなラジオ番組は、思春期の少女とその親からの質問に答え、メンタルヘルス、家庭内暴力、学校の強制退学、COVID-19の予防など、様々なテーマで必要なライフスキルの指導を行っています。女子教育プログラムの参加者とその保護者からは、「このプログラムがきっかけで教育に興味を持つようになった」、「卒業生の話を聞いて学校に行く自信がついた」などの好意的な意見が寄せられました。
- **スリランカ**では、地域のラジオネットワークである Rajarata および Kandurata Sevaya とのパートナーシップを開始し、生徒達にライフスキル、金融リテラシーの向上、読解力の向上、理解力の向上などのレッスンを提供しています。これらの番組は、インターネットやテレビにアクセスできない子ども達にとって非常に有益であり、彼らが自宅で学習を続けることができるため、この困難な時期にも教育が中断されることはありません。



- **南アフリカ**では、6つのコミュニティラジオ局で週に2回以上、読み聞かせの放送を行っています。チームはリテラシークラウドからのストーリーを放送し、子ども達がオンラインや学校・地域の図書館でこれらのストーリーを探すように促しています。



教師と保護者のための遠隔学習支援

- **インド**では、毎年実施している読書キャンペーンを「India Gets Reading at Home（家で本を読もう!）」に改め、保護者が子どもの学習のパートナーとなるように働きかける強力な全国的な運動を展開しました。キャンペーンでは、魅力的なコミュニティの訪問やイベント、ビデオメッセージ、家族での読書時間、革新的な移動図書館などが行われました。ラクダ車、牛車、船を使った移動図書館では、遠隔地に住む生徒にも図書館を利用してもらうことができました。また、識字教育プログラムに参加している生徒の保護者向けにハンドブックを配布しました。このハンドブックは絵を多用しており、非識字および半識字の保護者が子どもの学習を支援する際に使用されます。私達の目標は、より多くの保護者に使いやすいツールを提供し、家庭での学習環境を整えることです。

“私は本を読むのが大好きです。学校には図書館がありましたが、パンデミックの影響で学校が閉鎖されてしまいました。この移動図書館のおかげで、たくさんの種類の本を読むことができるのが嬉しいです。”
 –アニータ（インドのルーム・トゥ・リードが支援する学校通う生徒）



- **カンボジア**では、全国の識字教育のトレーナーを対象としたバーチャルトレーニングへの移行を進めています。トレーナーが自分で練習したり、地域の他のトレーナーと少人数で練習できるように、ビデオトレーニングセッションや自己学習用の教材を作成して配布しています。また、学校閉鎖が続く中、学習を支援するために、教師と協力して教育ビデオや読み聞かせビデオを作成し、保護者や生徒に提供しています

● **インドネシア**では、子どもが家庭で読書をするように保護者をサポートするために、学校、教師、地区が使用する戦略を継続的に強化しています。例えば、教師のコーチング方法をバーチャルで提供したり、教師が保護者に伝えやすいように、子どもと一緒に読書をするためのヒントをまとめた資料を提供しています。

- **タンザニア**では、伝統的な女子教育の保護者向けワークショップに加えて、イベントで語られた重要なメッセージを強化するために、SMSテキストによるアウトリーチを行っています。これは、Chalinze 地区の

8,000人以上の少女に影響を与える新しいプロジェクト「Nguvu ya Msichana」（少女の力）を開始する際に、この補足的なアウトリーチが不可欠なアプローチの一部となります。

- **ベトナム**では、図書室のセットアップと管理のコースをオンライン化し、バーチャル配信を行っています。パンデミックとそれに伴う学校閉鎖の混乱は、予測不可能な閉鎖にもかかわらず、教師がスキルを向上させるためのバーチャルトレーニングを提供することの重要性が明らかになりました。

少女のためのライフスキルとメンタリングを補完する遠隔学習リソース

- **スリランカ**では、WhatsApp や電話会議を利用したバーチャルグループメンタリングや個人サポートを実施しています。また、2020年に女子生徒が受けられなかったライフスキルのセッションをカバーするワークシートを配布し、個人やグループでのメンタリングセッションで女子生徒の学習状況をフォローしていきます。また、ライフスキルと金融リテラシーのレッスンが、Guru TV を通じてテレビ放送され、参加者を増やし、インパクトを拡大しています。
- **ベトナム**では、ライフスキルセッションの一部をビデオクリップを使って遠隔地で実施しています。教師は少女達にオフラインで学習できるように、ビデオの使い方やビデオのダウンロード方法を指導しています。ビデオの中には、少女が家でできる練習問題が含まれており、写真を撮ったり、オンラインフォームに回答したり、ハードコピーを作成して直接先生に提出します。
- **インド**では、少女が今日の課題に対処できるようにすることに焦点を当てたライフスキル教育の追加コンテンツ（例：ストレス管理、遠隔学習、自己学習）を、全学年の少女向けの自習用ガイドシリーズとしてデザインしました。ガイドは、3つの言語（ヒンディー語、マラーティー語、テレグ語）で提供されます。ガイドの各レッスンには、関連するテーマやトピックの簡単な概要が含まれており、その後、少女がレッスンの学習と内面化を促進するための振り返り練習が行われます。パンデミックの中でも学習を続けられるように、私達のチームだけでなく、女子教育プログラムの参加者も懸命に努力しています。参加者は家族やソーシャルモビライザーと協力して、月経の健康に関する仮想ディスカッションを行い、月経の健康と衛生に関する会話を正常化しました。



また、**学校再開で復学した生徒が対面学習にうまく移行できるよう、必要なサポートを提供することにも注力**しています。女子教育プログラムでは、98%という高い復学率を達成しているところもあります。この成功の最も重要な要因の一つは、保護者の高い関与にあると考えています。子どもの学業成績は、家庭環境の良し悪しと密接に関係しています。そのため、パンデミック中に確立した保護者とのコミュニケーションのチャンネルは、対面式の授業が再開された後も継続しています。保護者の方とメールで連絡を取り合い、教育の重要性を伝えることで、生徒達が学業に励み、成功に必要なサポートを確実に受けられるようにしています。

また、生徒が追いつけるようにカリキュラムを変更しています。**バングラデシュでは、コロナ後の学校教育において対面式の授業で使用するために、初の補習用学習パッケージを開発しました。**このパッケージは、小学生が未習の教材に追いつき、学習のギャップを特定できることを目的としています。教師向けにはオンライン研修を実施し、保護者向けには学習パッケージの使い方のガイドラインを提供しています。**バーチャル教材と合わせて、保護者が家庭での学習環境を整えることで、生徒がパンデミックの間に抜け落ちてしまった学習内容を補完することができます。**ルーム・トゥ・リードは、**2022年1月から始まる学校での授業で使用するために、これらの教材をさらに発展させています。**この教材は、バングラデシュの全国カリキュラムの一部として採用されており、私達は他にこのアプローチを適用できる可能性があることを楽しみにしています。

ご支援について

私達は、世界で最も弱い立場にある子ども達の教育をあきらめるわけにはいきません。高所得国の多くの学生の状況は改善され続けていますが、学習リソースにアクセスできる学生と、遠隔教育にアクセスできない在宅の学生との間の機会格差はさらに広がっています。パンデミックの影響で最も深刻な問題に直面している学生は、教育を受ける権利を失うと、長期的な影響に苦しむことになります。私達は、刻々と変化する学生の課題にプログラムを適応させることで、あらゆるうねりを通して COVID-19 の教育危機に対応してきました。継続的なご支援がある限り、私達はコミュニティとの強力なパートナーシップと専門知識を活用して、教室でも家庭でも子ども達に手を差し伸べていきます。

グローバル教育の未来については楽観視していますが、**資金がなければ、何百万人もの若い学習者に支援を届けることはできません。**最も必要とされている分野へのご支援は、このような不確実で不安定な時代に、プログラムの提供方法を柔軟に変更し、可能な限りの手段で生徒に支援を届けることができます。2021年以降も、予期せぬ学校の混乱に関係なく、多くの学生が教育を受け続けられるよう、皆様のご支援をお願いいたします。COVID-19によって引き起こされた課題は、学習を困難にしていますが、不可能ではありません。私たちは、支援を必要としている何百万人もの子ども達の教育支援をあきらめません。いかなる前例のない障害が発生しても、すべての生徒が質の高い教育を受ける権利を行使できるようにするための活動に、ご協力をお願いいたします。

御礼

ルーム・トゥ・リードのチームと、私達が支援している子ども達やコミュニティを代表して、活動へのご支援をご検討いただき、ありがとうございます。教育を受ける権利を守ることで、世界中の子ども達の生活に大きな影響を与えることができます。この旅路へのご参加をお待ちしております。